

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和2年度)

施設 の 名 称	宮城県ライフル射撃場
指 定 管 理 者 の 名 称	宮城県ライフル射撃協会
施 設 所 管 部 課 (室)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成23年 4月 ~ 平成26年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	
平成26年 4月 ~ 平成31年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	
平成31年 4月 ~ 令和6年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	宮城県ライフル射撃協会
	所在地	宮城県利府町加瀬字南野中沢40-51
指 定 期 間	平成31年 4月 1日 ~ 令和6年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県ライフル射撃場	
所 在 地	石巻市沢田字金山51-1	
設 置 年 月	昭和57年 8月	
根 拠 条 例 等	ライフル射撃場条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	12,174.91㎡
	構 造	エアーライフル射撃場 鉄骨造平屋建(覆道式) スモールボアライフル射撃場 鉄骨造平屋建(バツフル式)
内 容	<エアーライフル射撃場>26射座(電子12), 会議室兼ビームライフル射撃場(14射座), 事務室, 更衣室, 選手控室, 銃器修理室, 銃器保管室, 審査室, 温水シャワー室 <スモールボアライフル射撃場>26射座, 事務室, 更衣室, 選手控室, 銃器手入室, 審査室	
開 館 (所) 日	休館日(平日, 12月29日から1月3日まで)を除く土日祝日	
開 館 (所) 時 間	午前9時 ~ 午後5時	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 施設全体の管理運營業務 2 施設の使用許可及び使用許可の取消し又は停止に関する業務 3 使用料に係る各種申請書の受付に関する業務 4 使用料の徴収に関する業務 5 施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
開館(所)日数	132 日	115 日	79 日	59.8%	68.7%
延べ利用者数	3,400 人	3,333 人	1,210 人	35.6%	36.3%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
スモールホ・アライフル	100 人	91 人	21 人	21.0%	23.1%
エア-ライフル	700 人	608 人	312 人	44.6%	51.3%
ビームライフル・ビームピストル	1,500 人	1,488 人	523 人	34.9%	35.1%
温水シャワー	50 人	72 人	0 人	0.0%	0.0%
冷暖房施設等	1,000 人	1,074 人	312 人	31.2%	29.1%
会議室	50 人	0 人	42 人	84.0%	#DIV/0!
合 計	3,400 人	3,333 人	1,210 人	35.6%	36.3%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
県指定管理料	5,550	5,806	5,550	100.0%	95.6%
利用料金収入	2,000	2,276	1,307	65.4%	57.4%
その他	600	226	2,451	408.5%	1084.5%
収入計 (a)	8,150	8,308	9,308	114.2%	112.0%

(2) 支出

人件費	1,470	1,488	1,462	99.5%	98.3%
施設管理費	4,680	4,869	4,841	103.4%	99.4%
事業運営費	1,608	1,675	2,816	175.1%	168.1%
その他		0		#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	7,758	8,032	9,119	117.5%	113.5%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	392	276	189	48.2%	68.5%
前期繰越収支差額	460	55	330	71.7%	600.0%
次期繰越収支差額	200	330	188	94.0%	57.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
事業費	50	73	47	94.0%	64.4%
参加料収入等	0	0	70	#DIV/0!	#DIV/0!
雑費(寄付金含む)	30	72		0.0%	0.0%
収入計 (a)	80	145	117	146.3%	80.7%

(2) 支出

人件費	50	45	30	60.0%	66.7%
施設管理費	0	0	5	#DIV/0!	#DIV/0!
事業運営費	30	99	77	256.7%	77.8%
その他	0	1	5	#DIV/0!	500.0%
支出計 (b)	80	145	117	146.3%	80.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0		
前期繰越収支差額	0		0		
次期繰越収支差額	0		0		

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(令和2年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	今年度も通常の管理運営体制については問題ないとおもわれる。新年度は更に利用者の感染予防と安全確保の向上を目指した管理体制を取る。		今年度は新型コロナ感染で利用者の減少・射撃場の閉鎖等多くの問題があったが、感染予防に努めた、射場管理運営を行った。		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、事業計画に基づき、適切な管理運営体制であったと認められる。正規職員1人の他は、ライフル射撃協会がボランティアとして補佐している。	A
人員体制	正規	1人	非正規	8人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	例年通り施設・設備の点検・法定点検等を実施し維持管理には万全を図っている。しかし建設から20年近い年月がたち、施設の老朽化が見られるようになった。		施設・設備の維持管理についても、委託または自主点検・清掃等を行っている。		A	施設・設備の維持管理・点検等の一部を外部委託しているが、指定管理者においても、日常点検・清掃等を積極的に行い、施設設備の不具合の早期発見・早期修繕による経費削減に努めている。鉛処分についても適切に対応している。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	①段級記録会の実施 ②全日本障害者ライフル射撃選手権大会		本年度は新型コロナ感染の全国的な広がり、ほとんどの大会・記録会が中止となり、全国的に一時感染減少があった、11月に実施されたのみである。		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの大会等が中止となったものの、日本ライフル射撃協会と連携を図り全国規模の大会を開催し、競技力向上に努めた。	A
④自主事業の実施	今年度も、教習射撃を実施。		今年度の教習射撃受講者が減少した。やはり全国的に射撃人口の減少が影響している。		B	教習射撃を実施し、施設の有効利活用に向けた取り組みが見られた。	B
⑤利用者サービスの向上	①教習射撃講習の実施 ②練習時以外に休憩室でゆっくり休めるようTVの設置。及びミネラルウォーターの給水タンクの増設を行った。 ③ 空気銃の保管を出来るようにした。		特に今年度は感染防止の各施策が重点で場内の感染予防のアクリルパネル、空気清浄機等の設置を行い、利用者の感染予防に努めた。		A	利用者が快適に過ごせるよう、休憩室の設備に工夫が見られる。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	本年度もアンケートを実施して回答を得ているが、特に大きな施設上の問題は出ていない。		今後とも大会時にアンケートを求めて行くようにする。		B	大会の都度アンケートを実施し、利用者の要望を把握するよう努めている。	A
⑦安全対策	昨年に続き利用者の安全確保の為に向上を図り、災害時の射撃場での一時避難場所として利用するよう食料等の一部交換と水、ガソリン発電機の設置等、備蓄を始めとして連絡手段としての、衛星電話、半径10km前後の簡易無線装置等の設置を行い、万全を期している。		災害時のみならず、通常時の利用者の安全については常時射撃場内外を点検しており、安全対策は講じられている。		A	施設、設備の自主点検を行うとともに、必要な修繕等についても適切に実施している。また、災害時の連絡体制を整え、食糧の備蓄についても配慮されている。	S
⑧県民の平等利用	特に利用拒否等はない。		県民の平等利用については、問題は無い。		A	銃刀法により利用者が限定(ビームライフルは除く)されているが、施設の利用に当たっては、適切に運用されている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報の入っているデータは射場には普段置かないよう配慮している。又データを使用するパソコンにも暗証番号を使い勝手に使用出来ないよう配慮している。	個人情報保護規定に基づき、十分に配慮している。	A	個人情報保護規定を設置し、適切な管理に努めている。	A
⑩利用実績	今年度は新型コロナ感染予防の為に射撃場閉鎖及び利用者の大幅な減少であった。	今年度は大幅な利用者の減少であり、又収入も大幅な減少であった。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的には対前年比・対計画費ともに減少となったが、コロナ影響による要因を除けば、概ね計画どおりの実績であった。	A
⑪収支実績	① 28年度 1,956,070円 29年度 2,048,220円 30年度 2,725,910円 ④ 31年度 2,325,340円 ⑤ 令和 2年度 1,312,190円	② ③ 今年度は新型コロナ感染予防の為に、一時射場の閉鎖及び全国規模・東北6県規模の大会がすべてちゅうしとなり、大幅な収入減・利用者減に繋がった。	A	新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止等の影響により、利用者数・利用料金は減少したものの、積極的に経費の削減に努めている。	A
⑫その他の取組	コロナ感染予防の為にアクリル板の設置・室内の空気清浄機の設置等をおこなった。	アクリル板も既製品を購入すると高額になるため、自分たちで一部作成した。	A	経費削減のため、新型コロナウイルス感染症対策のアクリル板を自作し設置した。必要な施設修繕及び備品整備を行っている。	A
総合評価		年度計画等の内容と大幅な変更等があったが、適正な管理運営を行っていると考えられる。	A	新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止等の影響はあったが、昨年に引き続き、施設の維持管理・設備の充実を図り、適切な管理運営業務がなされている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	今後、50m電子標的の設置で、全国規模の大会誘致に積極的に出られるので、誘致を考慮したいが、新年度も新型コロナ感染予防上での様になるか、不透明である。又、現射撃場も建築から、20年以上経過し、大幅な改修・修繕等が必要となってきました。	50m射撃場の電子標的増設等の課題については、限られた予算の中、今後も全国規模の大会が誘致できるよう計画的に必要な施設の整備を進めていく。